

右の「がたり観光」

シンポジウム

コジヤマから瀬戸内へ

近代以前に「瀬戸内海」は「存在しなかった」。それは播磨灘や燗灘など、せまい海域の寄せ集めに過ぎなかった。それが近代に「ひとつながりの内海」の多
島海＝瀬戸内海」として「発見」される（西田正憲「瀬戸内海の発見」中公新書、1999）。

そこを1860年に訪れたドイツの地理学者フェルディナンド・フォン・リヒトホーフェンは、その書に、こう記した。「広い区域に亙る優美な景色で、これ以上のものは世界の何処にもないであろう。将来この地方は、世界で最も魅力のある場所の一つとして高い評判をかち得、沢山の人々を引き寄せることであろう。……かくも長い間隔たれて来たこの状態が今後も長く続かん事を私は祈る」



シンポジウム 参加申し込み方法

- 参加希望者は必ず往復八方までお申し込みください。
- 参加証を返送しますので返信用八方中にも「自宅住所の記入」をお願いします。
- 参加者1名ごとに、1枚の参加証が必要です。
- シンポジウム参加費は無料です（ただし船内見学時の昼食は各自負担）。
- 下記参加パターンA班、B班、C班のいずれかを必ず明記してください。4/7消印有効。先着400名で締め切ります。
- 申込先：〒530-0047 大阪市北区西天満6-5-17 デジタルエイトビル5Fものがたり観光行動学会「4/17シンポジウム」係まで。
- 必ず住所・氏名・年齢・電話番号を明記してください。
- 問い合わせ先：ものがたり観光行動学会

☎06-6311-3325

日時 **4月17日** [土]
「13時半～16時40分」※開場13時

※別途に船内見学を希望される方は左記の案内に従ってください。

会場 **WTCホール**

- 主催/ものがたり観光行動学会
 - 後援/大阪市
 - 協力/商船三井（ボスター原画提供）
- トラベルニュース社、NPO法人もつひとつの旅クラブ
NPO法人DREAM ISLAND（小豆島）
井上誠耕園（小豆島）、フェリーさんぽらあ
シンカ・コミュニケーションズ、大阪千代田短期大学

集合時間と船内見学 プログラム

A班 11時集合 **B班 11時半集合**
それぞれの指定時刻までに南港ポートタウン線「コスモスクエア駅」下車すぐの「フェリーさんぽらあ前」集合。船内レストランにて昼食後（各自負担900円）約25分間の操舵室・特別客室などを巡る船内見学に出発。その後、各自にてシンポジウム会場に集合する。

C班 船内見学しない
シンポジウム開演時刻13時半迄に会場・WTCホール（※トレードセンター前駅すぐ）に集合。

※船を見学する「コスモスクエア駅」と、シンポジウム会場「WTCホールの「トレードセンター前」両駅間は1駅2分歩いて約7分です。

シンポジウムプログラム

「13時半～16時40分」※開場13時

- 事前の案内5分
- 記念講演 **瀬戸内を旅すれば**
旅の文化研究所 所長 神崎宣武
- 35分 基調講演 **瀬戸内海の物語**
奈良県立大学 地域創造学部 教授 西田正憲
- 15分 問題提起 **観光政策の陰翳礼賛**
関西学院大学 副学長・教授
ものがたり観光行動学会 副会長 加藤晃規
- 休憩5分
- ディスカッションステージ80分（右記までの登壇者を含む）



瀬戸内は幻か

プロデュース 佛教大学 社会学部 教授
ものがたり観光行動学会 副会長 高田公理

コメンテーター 国際日本文化研究センター 教授
ものがたり観光行動学会 副会長 白幡洋三郎
日本コナモン協会 会長・食文化研究者
ものがたり観光行動学会 理事 熊谷真菜
国土交通省 海事局 次長（元・九州運輸局長）
ものがたり観光行動学会 特別顧問 大黒伊勢夫

瀬戸内のススメ

終演案内5分
フロア司会 フリーアナウンサー
大阪千代田短期大学 非常勤講師 木村真弓
全体進行 大阪千代田短期大学 物語観光情報研究センター 所長
ものがたり観光行動学会 専務理事 李 有師